



PGモルタル

NET 25kg

AFM®社 Perform Guard®
専用モルタル

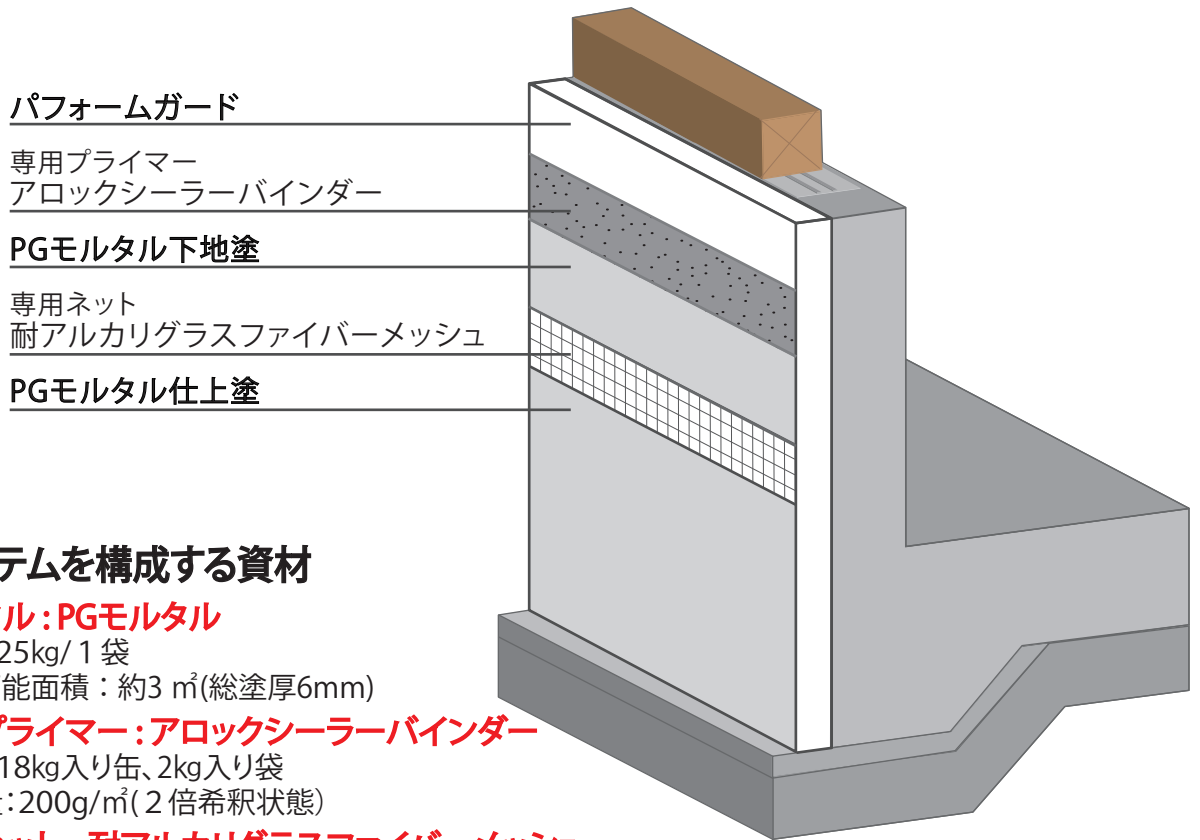
PGモルタル の特徴

クラック・剥離・脱落
防止

断熱材への
高付着性

防蟻断熱材
保護

パフォームガードの仕上げには**クラック防止**と
断熱材保護を兼ねた専用のPGモルタルをご利用下さい。



PGシステムを構成する資材

- ◆ **モルタル: PGモルタル**
荷姿: 25kg/1袋
塗付可能面積: 約3㎡(総塗厚6mm)
- ◆ **専用プライマー: アロックシーラーバインダー**
荷姿: 18kg入り缶、2kg入り袋
塗布量: 200g/㎡(2倍希釈状態)
- ◆ **専用ネット: 耐アルカリガラスファイバーメッシュ**
荷姿: 幅 50cm又 100cm(2種類) 長さ50m



専用ネットを切断しておく



プライマー塗布・下地塗り



ネットを下地塗りに埋め込む



乾燥後、仕上塗りをして完成

価格はお問い合わせください。

お問合せ

PLAKEN
ECO-Plastic Building Materials 株式会社プラケン

TEL 03-3556-5195 FAX 03-6272-3740

URL <http://www.plaken.co.jp>



【PGモルタル施工要領】

(1) 下地処理

- ・パフォームガード表面の泥汚れなどを清掃する。
- ・パフォームガード表面に2倍に希釈したアロックシーラーバインダーを200g/m²を塗布し、乾燥養生する。
(約夏季1時間、冬季2時間)

(2) PGモルタルの混練り

- ・PGモルタル1袋に水4ℓ前後を加えてモルタルミキサーで3分以上練る。
水は全水量を一度に入れるのではなく、約8割程度の水を入れて固練りし、徐々に残りの水を加えながら固さ調整を行う。

(注意事項)

- ・PGモルタルの混練りには、必ずモルタルミキサーを使用すること。ハンドミキサーでの混練りはモルタルに空気を巻き込む為強度低下となります。
- ・混練り時間は必ず3分以上とすること。混ぜ練時間が短いと、粘りが出ず必要以上の加水の原因となります。

(3) 塗付け及び専用ネットの埋め込み

- ・パフォームガード繫手部分の隙間や凹み箇所を十分に詰め込む。
- ・**下塗り** PGモルタルをパフォームガード全面に塗付ける。塗り厚は3~4mm程度とし、鍍圧をかけて塗付ける。
- ・塗付け完了後、すぐに専用ネットを埋め込む。埋め込む際はネットの浮きのない様平滑に埋め込み、十分PGモルタル内に入り込むようにする。専用ネットの縦重ねは50mm程度とする。
- ・パフォームガード全面に下塗り・ネット埋め込みを行った後、箒目荒しを行い、下塗りの締り具合を見計らって上塗り工程に進む。
乾燥ムラが生じた場合や下塗りの締り具合が不十分な場合は十分養生を行い、水打ち又は3倍希釈したシーラーを塗布した後、上塗り工程に進む。
- ・**上塗り** 塗り厚を3~4mm程度とし、鍍圧をかけながら行う。
- ・水引き・締り具合を見計らって、仕上げ工程の鍍仕上げ又は刷毛引き仕上げを行う。(もみ過ぎは浮きの原因になりますので要注意)



施工上の注意事項

- ・乾燥収縮や膨張などによって表面に0.3mm以下のヘアークラックが入る場合があります
- ・PGモルタルは既調合品ですので、他の材料は絶対に混入しないこと
- ・PGモルタルは粉末接着剤を混入している為、練り置きはしないこと
(練り上げてから30分以内に使用すること)
- ・硬化し始めた材料を練り戻して使用しないこと
- ・5℃以下での施工は行わないこと
- ・冬季施工完了後、凍害の恐れのある場合は養生を行うこと
- ・直射、通風による効果不良を防ぐため、施工中・施工後には防塵ネット等を設置すること
- ・施工後、雨水等がかからないよう養生を行うこと

安全上の注意事項

- ・現品は、セメント同様アルカリ性を示します。目、皮膚、衣類に触れない様に防護具(ゴム手袋、防護眼鏡、マスク等)を着用してください
- ・誤って目に入った場合は直ちに清浄な水で十分に洗浄し、必要に応じ専門医の治療を受けて下さい
- ・皮膚に付着すると皮膚荒れを起こすことがありますので直ちに水洗いをして下さい
- ・作業後は手洗いうがいをして下さい
- ・現品にアスベストは含まれておりません